

『尼崎公害患者・家族の会』が第40回総会

公害被害者の完全救済を



これまでの成果を力に、さらなる運動が呼びかけられた

尼崎大気汚染公害訴訟原告団の「尼崎公害患者・家族の会」の第40回総会が、7月9日に尼崎総合文化センターで開かれた。

協会の森岡芳雄環境・公害対策部長が、「今なお健康被害に苦しんでいる方々のこれまでの公害闘争を勝ち抜かれた運動と、環境ロードプライシングをはじめとする環境汚染軽減への活動から、尼崎再生、反戦平和へと展開されている運動に心から敬意を表する」との連帯のメッセージを送った。

患者会結成から40年、国道43号線差し止め判決・和解成立から11年を迎えた。和解条項のひとつであるバリアフリー化では、東本町交差点のエレベーターが10年目にしようやく設置されたことも紹介され、成果を喜びあった。

1998年の提訴以来、弁護団長として運動を支えてきた中尾英夫弁護士があいさつ。また、羽柴修弁護士が、差し止め判決の意義と39回に及ぶ阪神高速道路株式会社との連絡会の経過を振り返り、「今年こそディーゼル大型車の規制の実現を」と強調した。

松光子会長は「公害被害者の全面・完全救済を実現し、子や孫に青い空を残すために元気に頑張ろう」と訴えた。

患者会結成から40年、国道43

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451

< 8月のテーマ > ※8月12日(金)～17日(水)までは金土日のテーマを放送します

- 月曜日 使い捨てコンタクトレンズの注意点
- 火曜日 東日本大震災と口腔ケア
- 水曜日 甲状腺機能亢進症とは
- 木曜日 補聴器を買われる時
- 金土日 夜、眠れない方へ睡眠薬の服用も含めて一

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。 <http://www.hhk.jp/>

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

323号

2011年7月25日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町2-11-10 八木クリニック内
兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第40回支部総会・記念企画「祝の島」上映会を開催

「子や孫に自然残したい」島民の信念に感銘



「原発なくそう」という感想が多く寄せられた
悲しみが淡々と語られ、参加者の胸を打った。

参加者からは、「先祖から受け継いだ美しい海を子、孫に引き継ぎたいという島民の想いがよくわかった」「自然を糧に生きる人々と不自然の象徴のような原発との対比が島の生活を淡々と描くことで浮き彫りになり良かった」「反対の人も推進の人も、いろいろ理由があるが友達や親戚の人がバラバラになってしまうのが本当に残酷だと思った。もっともっとたくさんの人々に観てほしい」など絶賛する多数の感想が寄せられた。

尼崎支部は7月16日、尼崎労働福祉会館で第40回支部総会を開催。

記念企画「祝の島」上映会には会員医療機関のスタッフ・市民ら75人が参加した。

この映画は1982年に原子力発電所の建設計画が持ち上がって以来、29年間も反対運動を続ける山口県上関町祝島の島民の生活や生き様を描いたもの。生活の糧である「宝の海」が汚染されることへの憤りや、自然だけでなく島の人間関係をも壊していったことへの住民の深い



司会を務めた綿谷茂樹副支部長

役員改選では、新しく今北正道先生、合志明彦先生、細見基信先生、両角隆一先生が幹事に就任した。

2011年度活動方針では、支部幹事会への新規開業医の参加を図り幹事会を一層活性化していくこと、引き続き地域医療の向上を目指す取り組みなどが確認された。

改選後の支部役員、協会役員の一覧と2011年度活動方針を2ページに掲載。



再選された八木秀満支部長が挨拶

2011年度活動方針

1. 経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
2. 地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
3. 在宅医療点数研究会や介護保険に関する研究会などを企画する。
4. 医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
5. 住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
6. 職員対象の保険請求事務講習会や接遇研修会、ホームページ作成講習会などを企画する。
7. 医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に取り組む。
8. 「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に結集し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。特に、国・企業の責任を追及するためにアスベスト尼崎訴訟を支援する。
9. 「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(通称・県塚の会)」の活動に積極的に参加し、尼崎及び阪神地域の医療を守る運動を住民とともに展開していく。
10. 「あまがさき9条の会」をはじめ、市内の地域9条の会に協力し、平和憲法を守る活動に参加する。
11. 会員間の交流を深める文化行事を企画する。
12. 支部ニュースの毎月発行に努める。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員(敬称略・五十音順)11～12年度

【支部長】	八木 秀満			
【副支部長】	綿谷 茂樹(筆頭)	大塚 誠治	大原 知樹	
【支部幹事】	西原 弘道(主任)	朝田 真司	阿部 勝也	今北 正道(新)
	高 光重	合志 明彦(新)	鈴木 克司	高田 正
	立石 順	長谷川吉昭	畠中 正昭	藤岡 一郎
	細見 基信(新)	堀尾 俊治	本田 稔	前田 重人
	増田 勉	町塚 博文	松田 哲一	両角 隆一(新)
	山内 道士	山下 秀明	行松 信孝	
【参 与】	合志 至誠	森本 和夫	横田 友二	

兵庫県保険医協会役員(敬称略・五十音順)11～12年度

【理 事】	西原 弘道	八木 秀満(新)	綿谷 茂樹	
【名誉理事長】	合志 至誠			
【評議員】	大原 知樹(新)	高田 正	谷川 博信	長谷川吉昭
	畠中 正昭	前田 重人	町塚 博文	山下 秀明
(予 備)	大塚 誠治(新)	高 光重	鈴木 克司	堀尾 俊治
(歯 科)	阿部 勝也	伊沢 真一	黒田 哲	富澤 洪基(新)
	松田 哲一			

県立尼崎・塚口病院の跡地活用など議論

―県塚の会が第4回総会を開催



新署名の取り組みなどが提案された

「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会(県塚の会)」は7月9日、塚口さんさんタウン・コミュニティホールで第4回総会を開催し、市民ら70人が参加した。

代表に畠中正昭支部幹事、副代表に綿谷茂樹副支部長と船越正信尼崎医療生協理事長が再任された。

基調報告では、昨年12月に県が尼崎病院と塚口病院を統合し新病院を建設する「統合再編基本計画」を発表して以降の会としての取り組みを徳田事務局長が説明。

新病院建設計画にある「断らない救急」の完全実施や、尼崎・塚口両病院の跡地に新病院の退院後の受け入れ先となり得る民間病院の誘致などを県に要請してきたと報告した。

徳田事務局長は、「新病院が建設されれば地域医療連携がますます重要になる。両病院の跡地活用の問題は引き続き県に強く求めていく」と強調。今後の運動として、尼崎の地域医療をさらに充実させるための要望署名1万筆に取り組む方針を提起した。

また、綿谷茂樹副支部長が「統合新県立病院の後方支援と地域医療の連携について」、船越正信尼崎医療生協理事長が「災害時に強い病院づくり」と題して講演。新病院の課題や、尼崎市の救急医療の現状、医療連携の役割についてわかりやすく解説した。



綿谷副支部長が尼崎の救急医療の現状など報告

○「県立尼崎病院と塚口病院の統合再編基本計画に対する要望署名」にご協力ください

尼崎支部の会員医療機関に送付させていただいております。9/1までにご返送をお願いします。追加でご協力いただける方は、協会事務局までご一報ください。